

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	清水小学校	小西 啓裕
学校所在地		
〒 648-0041 和歌山県橋本市清水2014番地		
tel 0736(32)0307 fax 0736(32)0460		
担当者名		役職名・担当教科
阪口 寛美		教諭
<p><b>〔学校の概要〕</b></p> <p>本校の校区は、橋本市の官庁街から紀ノ川を隔てて南に位置し、橋本高野橋で結ばれている。民家の大部分は、紀ノ川に沿って南側に細長く東西に街を形成し、旧高野街道の歴史的な町並みを残している。</p> <p>地域住民の多くは、大阪方面を中心とした近隣地域へ通勤している。ひらたね柿やはたごんぼの生産などの農業も盛んである。また、国の伝統的工芸品であるへらブナ釣り竿の里として全国的に名が知られている。古くから高野街道の発展とともに成長してきた校区には数多くの史跡が残され、自然に恵まれた落ち着いた学習環境である。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年6年生 11名	職員 2名	高野山
実践研究テーマ		
自ら課題を発見し、自他共に力を合わせて生きていこうとする子どもの育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	地域から学ぶ「高野山」	
<p><b>〔キーワード〕</b></p> <p>世界遺産学習・情報活用能力・環境教育</p>		
<p><b>〔単元目標〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産になった「高野山」を探索し、地域の歴史遺産への関心をもち、高野山の歴史的価値について学ぶ。</li> <li>・地域の歴史的遺産を調べることで、地域の歴史的価値を見だし、地域に対する思いを深め愛着をもてるようにする。</li> </ul>		
<p><b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b></p> <p>全体15時間（「地域にある世界遺産（高野山）について学習しよう。」 15 時間）</p>		
<p><b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県世界遺産センター</li> <li>・県世界遺産マスター</li> </ul>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	・世界遺産について調べる。	・世界遺産とは何かについて、本やインターネットを利用し調べる。また、その中から自分が興味をもったところやさらに調べてみたいことを記録しておく。	・単元の活動について、興味をもつことができている。 (発言・ワークシート)
2	・世界遺産について調べまとめる。	・世界遺産について自分が興味があることをもとに、調べるテーマを決めさせる。 ・テーマごとにグループを決め、まとめさせる。	・テーマについて調べ、パソコンにまとめている。 (観察)
3	・現地見学を通して、高野山について学ぶ。	・次世代育成事業に参加し、高野山についてメモをとりながら見学させる。	・大切なところはメモをとりながら聞いている。 (観察・ワークシート)
4	・現地で見たことや聞いたことを付け加えながら、高野山や世界遺産についてまとめる。	・現地学習や調べ学習で収集した情報を活用しながら、パソコンでまとめさせる。	・教えてもらったことや、パンフレットを参考に積極的にまとめている。 (発言・観察)
5	・まとめたことを発表し、自分の感想を書く。	・グループで協力して発表する。 ・各班の発表を聞き、「世界遺産」「高野山」について自分の感想をまとめる	・友達の意見をきちんと聞いて、自分の感想をまとめている。 (発言・観察)
〔单元学習の成果と課題〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが住む和歌山県には世界遺産に登録されている「高野山」があり、子どもたちは興味をもって世界遺産について調べたり、高野山を見学したりすることができた。</li> <li>・実際に訪れたり解説を聞きながら歩いたりしたことにより、「高野山」を身近に感じられるようになった。また、自分たちで守り、次世代に語り継いでいかなければならないという思いをもつことができた。</li> </ul>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に世界遺産に指定されている高野山を訪れ、自分たちの足で歩くという貴重な体験をさせていただき、和歌山のすばらしさを知り、郷土和歌山に誇りをもち、和歌山の自然や文化を大切にしていこうという意識を高めることができた。</li> </ul>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住む和歌山には素晴らしい自然や文化があることを知ることはできたが、今後どのような形で地域・学校が世界遺産「高野山」に関わっていくのか発展的な学習につなげていきたい。</li> <li>・単発的で終わるのではなく、継続的に取り組んでいけるように学習計画を立てていきたい。</li> </ul>			

## 様式 2

令和 2 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

### 【校外学習（高野山）】

世界遺産の学習で高野山に行きました。午前中は世界遺産マスターの先生の説明を聞きながら、大門～壇上伽藍～金剛峯寺まで歩きました。その後世界遺産講座を受講しました。午後からは、一の橋～弘法大師御廟を歩き終了しました。



### 【事後学習の様子】

事後学習では、現地での学習を通して、見たことや聞いたことをグループで話し合いながら、高野山や世界遺産についてパソコンを使いまとめました。



### 【児童の作文より】

・はじめに大門に行きました。大門には、鯉が滝を登っている絵が描いてありました。鯉が滝を登ると竜になるという言い伝えがあるそうで、「登竜門」と言われるということを教えていただきました。次に中門に行きました。そこでは、増長天、多聞天、持国天、広目天の四天王が守っているということも教わりました。昼からは、一の橋から御廟まで歩きました。たくさんの石碑がありました。世界遺産マスターの方にいろいろ教わり、とても良い経験をすることができました。

・世界遺産「高野山」に行って学習するのは初めてだったのでわくわくしました。奥の院の参道を歩いて回りました。すごく広くてびっくりしました。お墓もたくさんありました。明智光秀や織田信長、豊臣秀吉などの歴史上の人物の石碑もたくさんありました。私たちが住んでいる和歌山には、こんなすごい場所があるのだと知ることができて良かったです。いろいろな人に高野山の良さを伝えていきたいなと思いました。

・公民館で世界遺産についての話を聞きました。世界遺産には、文化遺産、自然遺産、複合遺産の三種類があることを教えていただきました。奥の院まで歩いて回りました。六地蔵について教えていただき、地蔵が、地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天の6つの六道を旅することから六地蔵と呼ばれるそうです。墓の数も20万くらいあると聞きました。すごく多いなと思いました。その中で一番大きい石碑は高さが8mもあってびっくりしました。とても勉強になりました。また高野山に行きたいなと思いました。